


事業者名	大分県								
機器名	顕微赤外分光分析装置								
写真									
特徴・用途	有機化合物の定性分析を行う装置。中赤外領域の連続光を分析対象物に照射し、赤外吸収を解析することで分子構造を推定する。顕微鏡下での微小部分の分析が可能で、製品中に混入した微小異物の原因究明のほか、リバースエンジニアリング、品質管理などに利用できる。								
設置場所	大分県産業科学技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成28年10月	15	0	19	15	27	0	6	40
	平成28年11月	14	9	17	15	21	0	1	42
	平成28年12月	17	11	18	15	22	2	5	51
	平成29年1月	14	3	18	16	22	0	2	39
	平成29年2月	15	17	15	15	20	1	0	48
	平成29年3月	13	1	19	19	36	3	0	42
	平成29年4月	15	5	20	18	28	1	1	45
	平成29年5月	12	4	13	11	16	1	1	30
	平成29年6月	17	2	22	20	35	1	4	49
	平成29年7月	8	0	11	11	15	1	0	23
	平成29年8月	10	0	14	13	22	0	2	29
	平成29年9月	16	2	21	19	34	5	3	50
	平成29年10月	16	6	24	24	45	1	1	56
	平成29年11月	14	0	21	20	36	1	1	43
	平成29年12月	13	5	17	17	28	2	0	41
	平成30年1月	13	5	14	12	26	3	1	35
	平成30年2月	14	5	15	15	26	5	1	41
	平成30年3月	8	5	10	10	15	5	0	30
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・微小異物についてはこれまで分析できず原因解明を断念していたが、当該機器を利用することでスピーディかつ高感度に測定することができ、社内の異物分析技術が向上した。 ・多成分分析のアプリケーションが非常に有効であり、異物発生原因をより詳細に特定でき、工程の改善につながった。 ・スピーディかつ正確に分析を行えるようになり、客先への調査結果報告を速やかに行えるようになった。 								
補助事業概要 の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-063koho.pdf								